

今日は少し冷え込んだものの天候にも恵まれ絶好の研究大会日和となりました。子どもたちも元気いっぱい登校し、モジュール授業と3・4時間目の授業に備えていました。15ヶ月にも及ぶ研究構想期間と7ヶ月の授業実施期間を経ての研究大会です。お客さんを迎えても、子どもたちには日頃の学習の様子をそのまま見せてくれればという思いで授業を見守りましたが、いつもどおりの落ち着いた態度で授業が進んでいました。一安心です。午後には、全体研究会ということで、先生方にはもうひとがんばりしてもらわなければなりません。

子どもたちは、いつもどおり元気に登校を完了しました。朝の挨拶も大きな声でしっかり交わすことができました。お客さんにも礼儀正しく接することができればいいですね。



朝の職員朝礼です。研究大会最終打ち合わせを行っています。先生方にも普段どおりの授業をしていただければと思います。



3時間目とモジュール授業、そして4時間目の授業を公開しました。子どもたちはしっかりがんばっていました。参加者も感心しておられました。



11:45

2018/11/01

研究発表会前日準備！準備万端整えて…。

| by 宇治田原町立田原小学校 サイト  
管理者

カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究発表会が、いよいよ明日に迫ってきました。2小学校では、授業準備はもちろん、受付や昼食会場の準備に追われています。また、全体研究会を行う宇治田原町総合文化センターでも舞台や座席の準備を行いました。数多くの参加者を迎え、いよいよ「宇治田原スタイル」のお披露目となります。年間 35 時間授業時間を増やすのに「子どもの負担をできるだけ少なくすること」を第一に考えた授業プランです。京都府下だけでなく、全国に広がればと願っています。

総合文化センターさざんかホールの前に立てかけられた看板です。いよいよ大会の日がやってきます。



午前の宇治田原小学校会場と田原小学校会場から参加される方と、午後の全体研究会から参加される方がるので、受け付けを3つ作ることになりました。



さざんかホールの定員は 400 名ですが、参加者は 200 名程度です。少し大きい会場となりましたが、参加者の熱い思いで熱気あふれる大会にしたいと思います。



全体会場で研究発表を行う宇治田原小の杉浦先生と田原小の夜久先生です。入念なチェックを行いました。授業をする担任の先生に負けず劣らずがんばって欲しいものです。



19:03

2018/10/11 [全体研究会場打ち合わせ](#)

| by [宇治田原町立田原小学校サイト管理者](#)

11月2日の研究発表会は、午前中に宇治田原小学校と田原小学校の2会場で授業公開を行い、昼食休憩を挟んで、距離的にちょうど中央部にある宇治田原町総合文化センターで全体研究会を行います。昨日、舞台設営業者との打ち合わせを行いました。舞台の動きを想定しての話し合いでしたが、研究発表会間近でいよいよ臨戦態勢に入っていく緊張を感じる時間となりました。

教育委員会の指導主事を交えての指定業者との打ち合わせでした。研究大会を何度も経験しているのですが、所作等でうろ覚えのことも多く結構時間がかかりました。



14:01

2018/10/09 第2回検討会議

| by [宇治田原町立田原小学校サイト管理者](#)

10月5日(金)のことですが、宇治田原小学校において本年度第2回目のカリキュラム・マネジメント検討会議を行いました。研究発表会を1ヶ月後に控えて、準備の進捗状況や当日の進行等について協議しました。また、今後の研究の在り方についても話し合った後、宇治田原小のモジュール授業の様子を参観して会議を終えました。直近の研究発表会については、検討会議の委員も大きな期待を寄せていただいているところです。当該校の校長として責任重大ですが、各校教職員と力を合わせて素晴らしい研究発表会を創り上げたいと思っています。

宇治田原小の子どもたちも宇治田原スタイルに慣れて、意欲的に学びを深めていました。先生方も指導にアレンジを加える場面も見られ熟達している様子が窺えました。



活発に協議も進みました。研究大会間近の緊張感がいよいよ増してきました。先生方も子どもたちもともにがんばって欲しいものです。



12:10

2018/09/05 [朝日新聞をご覧ください！宇治田原町の教育の特集が…！](#)

| by [田原小校長](#)

昨日4日(火)の朝日新聞の朝刊ですが、教育に関する特集記事に宇治田原町が進めている「モジュール授業」のことが掲載されています。朝日新聞の編集委員の方から取材を受けたことは6月20日のHPでお知らせしていましたが、他の地域の取材内容との調整や文章の校正等の期間を経て、いよいよ記事になりました。この記事のおかげで、本町の子どもたちのがんばりや「宇治田原スタイル」のよさが全国に広まるのではないかと期待しています。昨日のことで新聞が手に入らないかもしれませんが、是非ご一読いただければ幸いです。

(実は昨日HPに載せたかったのですが、田原小学校での昼からの停電とその対応により掲載できませんでした。申し訳ありませんでした。)



12:09

「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究発表会」を11月2日(金)に宇治田原町で開催しますが、このたび発表会の第二次案内ができました。さっそく、府内各小学校及び、本町の研究にご指導、ご助言いただいた各機関に案内状を送らせていただきました。是非多数のご参加をお待ち申し上げます。また、本ホームページにも開催要項と参加申込みフォームを掲載しておりますので、開催要項をダウンロードしていただくとともに、参加フォームでの申込みをお願いします。

2学期に入って、モジュール授業はBパターン(3・4校時の間の枠)での授業を実施し検証しております。1学期のAパターンに慣れた子どもたちが少し戸惑っているようですが、どちらが学びやすいか体感させたいと考えています。



15:24

研究指定を受けている学校を訪問すると玄関先に銘板がかけられていることがよくあります。銘板は木製で、指定を受けた研究名が毛筆で書かれているのが一般的です。本町2校でも文部科学省からの研究指定を受けて研究を行っているということで、子どもたちに知らせるとともに、町民のみなさんや学校を訪問された方にもご承知おきいただくため

に銘板を作成し掲げることにしました。檜材の中でも無地(節のないもの)を選び製材してもらい、西谷町長に揮毫していただき完成したわけです。西谷町長直筆ということで、町をあげて応援していただいていることに深く感謝いたしております。田原小学校では本館の玄関を入った右手に掲げておりますので、来校の折には是非ご覧いただきたいと思っております。

幅 25cm、縦 90cm、厚さ3cmの材に書いていただきました。木の大きさの割りに字数がとても多く、また、木地はにじむので書きにくかったと深く反省しています。西谷町長、大変申し訳ありません。でも素敵な銘板が出来上がりました。ありがとうございます。



宇治田原小学校と同じですが、この研究は創立 145 年の学校の歴史の中でも大きなピックスの一つです。その場において子どもたちのための研究に携われるということは大変光栄なことだと考えています。銘板完成を励みに、今後、さらに研究の精度を高めるようがんばっていきたいと思っております。



少し前のことになりますが、6月27日に田原小学校と宇治田原小学校の教員が本年度2回目の合同研修会を行いました。今回は新出漢字の指導方法「宇治田原スタンダード」の有り様について協議する会議の設定でした。今回は、このカリキュラム・マネジメント研究の3本柱(カリキュラム・マネジメントの研究、漢字や文法を中心とした国語の指導方法の研究、外国語の指導方法の研究の3本)の一つ、国語の指導に関する講演会となりました。

講師には、京都府総合教育センターの伴研究主事兼指導主事に来ていただきました。伴先生はお若いのですが、国語教育に関する造詣は深く、「なるほど」とうなずかされる深いお話を聞かせていただくことができました。

講演の前に伴先生にも本町の研究について理解していただきたいと考え、新出漢字の指導の模擬授業を行いました。指導者は、宇治田原小学校の薄出先生です。



始めに伴先生は「ひよっこりひょうたん島」を例にして話されました。「50年ほど前の子どもたちは、結構むずかしい言葉が飛び交う言語環境の中で生活していて、その中で難解な言葉も理解できる能力を身に付けてきた。子どもの育ちは環境に大きく左右される。」という話をされました。「なるほどそうだったなあ・・・。」と感じた次第です。



「国語の教材は、取り上げ方によって子どもたちがつかむものは大きく異なる。だから多角的な視点に立つ教材研究が大切だ。」と訴えられました。教材に限らず、物事は一方向から見るだけでなくいろいろな立場や方向から見て考えることが重要ですね。ためになる講演でした。



15:33

2018/07/02 [平成 30 年度第1回検討会議開催!](#)

| by [田原小校長](#)

カリキュラム・マネジメント研究を推進するに当たっていくつかの会議設定がなされているのですが、その一つに「**検討会議**」があります。大学の先生や学識経験者、山城教育局の指導主事、行政関係者等からなる「**検討会議**」は、**本研究の進み具合を確認し今後の方向性を定める重要な会議**です。

6月27日の水曜日のことですが、平成30年度第1回検討会議を開催しました。本年度は、教育委員会の機構改革がなされ、また、田原小学校と宇治田原小学校の両校が揃って文部科学省の研究指定を受けたということで、検討会議の構成員も大きく変わりました。2月26日以来の会議ということで、4月10日から実際に始めているモジュール授業

を見ていただいた上での検討会議となりました。

今回は、田原小学校のモジュール授業を見ていただきました。水泳学習のため時間帯を変えて実施している学年があったり、習熟のためにテストをしているクラスがあったりする中で、3年のモジュール授業を中心に見ていただきました。



多くのギャラリーに見つめられて、松坂先生も子どもたちもかなり緊張したことでしょう。普段どおりの授業を行っていただければいいのですが…。



参観後、校長室にてこれまでの研究の進捗状況について報告しました。文部科学省で研究発表してきたことやその時の出会いで朝日新聞の編集委員から取材を受けたことなどを話しました。



これからの研究の進め方についても提案をしました。**11月2日**に行う**予定の研究発表会**についても協議していただきました。これから京都府の小学校を中心に研究会の案内状を送り参加者を募ります。本町の研究について、多くの方々に理解を深めていただければと思います。



14:31

2018/06/20 [朝日新聞社の取材！緊張するも充実の時間に！](#)

| by [田原小校長](#)

5月に文部科学省で、本町の研究について発表してきたことはすでにお伝えしたところですが、その際、朝日新聞東京本社編集局社会部教育班の方から取材を受けたこともお知らせしたと思います。その時、実際に宇治田原町に行って子どもがモジュール授業を受けているところを取材したいというお話を受けていました。このことについて5月の終わりに正式な申し出があり、6月18日(月)に取材を受けることになりました。当日は、東京に出張した4名(町教委の馬場指導主事、宇治田原小の池尻校長、本校の夜久教務主任と本校校長の私)で取材対応する予定でしたが、朝の地震発生により池尻校長は学校待機となってしまいました。「地震騒動で大変なところ申し訳ありません」と恐縮しながら編集委員の氏岡さんが来校されたのですが、9時からの授業参観を皮切りに児童へのインタビューなど取材が続き、帰京の途に就かれたのは午後1時半を回っていました。熱心な取材に緊張しつつも、本町の研究について十二分にお伝えできたことに満足しています。

まずは、1時間目の途中からモジュール授業の前半にかけて5年の教室の様子を見てい

いただきました。子どもたちが熱心に漢字の指導を受けている様子をカメラに収めておられました。



続いて4年の教室に移動しての取材です。モジュール授業後半から2時間目の授業への「つなぎ」について見ていただきました。4年生の児童はお客さんが来られてとてもうれしそうに授業を受けていました



中間休みには、6年の本部役員4名にインタビューです。モジュール授業を受けて感じていることや考えていることについて子どもたちに質問されました。彼らがしっかり、そしてハキハキと答えている様子や6年の児童が低学年の子たちのことを思いやって話す姿に感心しておられました。私たちにとって子どもたちがよい評価を受けたことは最高の喜びですね。



「宇治田原スタンダード」(モジュール授業の方法)を考案した際の配慮した点や工夫について聞いていただきました。子どもに無理をさせず、授業の効果を上げるこの「宇治田原スタンダード」のよさについてお伝えできたことと思います。この取材が実って記事となり全国発信していただけたら、本町の研究に一層弾みが付くものと思います。氏岡さん、遠路はるばるお運びいただきお疲れ様でした。私たちにとってもよい経験となりました。

